タカミヤの価値創造プロセス

顧客からプラットフォームを共有するパートナーへ

タカミヤプラットフォームで建設業界の改革を実現し、
業界の課題である
「労働生産性」「人材不足」の課題を解決いたします。

OUTCOME

事業価値

売上高
44,127百万円

事業別売上高
販売事業
12,597百万円

レンタル事業
28,214百万円

海外事業
7,897百万円

プラットフォーム関連売上
2,796百万円

営業利益
3,404百万円

社会価値

ROE
9.1%

配当金
652百万円

平均勤続年数
10.5年(単体)

CO_2排出量
3,688t-CO_2

OUTPUT

INPUT

人的資本
変化を創出する多様な人材
- 従業員数 1,327名

社会関係資本
長年蓄積した顧客、サプライヤーとの関係
- 営業拠点 20ヵ所
- 機材Base 29ヵ所

知的資本
顧客が求める現場ニーズの理解
- 知的財産権 445件
- 研究開発費 98百万円

製造資本
全国津々浦々製品を届けるネットワーク
- 製造拠点 4ヵ所(国内2ヵ所・海外2ヵ所)

財務資本
- 総資産 689億円
- 株主資本 171億円
- 有利子負債 341億円

BUSINESS MODEL

タカミヤプラットフォームによりビジネスモデルを変換

これまで フロー × 顧客とサプライヤー ▶ これから ストック × パートナー

Takamiya Platform

タカミヤはDXを活用し、プラットフォームソリューションの利便性を向上し、拡充を推進

顧客の課題を解決するソリューションを提供 →
← プラットフォーム利用料

ユーザーのビジネス

必要なリソースをタカミヤプラットフォームで補い、収益性の改善、事業規模の拡大

プラットフォーム利用により顧客の継続的なパートナーとしての価値提供

タカミヤのプラットフォームの価値創造

顧客からプラットフォームを共有するパートナーへ

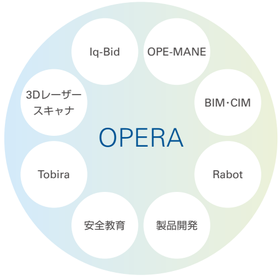
タカミヤプラットフォームが提供する価値

建設業界が抱えるリソース不足の解消
建設業界は様々なリソース不足に悩まされています。その中でも顕著な課題が人材不足です。専門技術を必要とする人材は慢性的に不足しており、労働者の30%以上が55歳以上で、29歳以下の労働者は全体の約11%と高齢化が進行していることもあり、深刻化が予想されます。また、そのような環境下で、労働集約型からの脱却を目的としたDXやデジタル化の取り組みは多くあるものの、進行が遅く、2024年問題による労働時間の規制が加わったこともあり、リソース不足の課題は顕在化しています。

参考：国土交通省「建設業及び建設工事従事者の現状」

OUTCOME

P.26-27



OUTPUT

P.28

INPUT

人的資本
変化を創出する多様な人材
- 従業員数 1,327名

社会関係資本
長年蓄積した顧客、サプライヤーとの関係
- 営業拠点 20ヵ所
- 機材Base 29ヵ所

知的資本
顧客が求める現場ニーズの理解
- Takamiya Lab. West(Takamiya Lab. East 建設予定)

製造資本
全国津々浦々製品を届けるネットワーク
- 製造拠点 4ヵ所(国内2ヵ所・海外2ヵ所)

財務資本
- 投資額 111億円

BUSINESS MODEL

提供する機能

お客様が求めるニーズに対応したサービスを展開

パートナー(顧客)

登録・活用 →

タカミヤプラットフォーム

窓口

プラットフォームポータル「OPERA」

→ **潜在ニーズ**
- リソース不足を解消したい
- 労働生産性を向上させたい
- 事業を成長させたい